

徳山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	英会話
科目基礎情報						
科目番号	0123		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報電子工学科		対象学年	4		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	NEW ALL TALK 2					
担当教員	長戸 喜隆,パリー フィンバース,倉増 泰弘					
到達目標						
Speaking English with confidence and fluency. 2nd grade in the STEP						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	can express opinion fluently in English		can express opinion moderately fluently in English		cannot express opinion in English	
学科の到達目標項目との関係						
到達目標 A 2 JABEE f						
教育方法等						
概要	Get the advanced-level students to communicate in English as much as possible.					
授業の進め方・方法	Generally following the textbook with teacher aids and supplements as needed.					
注意点	Grades will be 80% test based and 20% based on participation					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	Unit1		Introductions / Recommending / Tourist Information	
		2週	Unit2		Holidays / Travel agency	
		3週	Unit3		Experiences / Phrasal Verbs	
		4週	Unit4		Problems / Complaining / Possessions	
		5週	Unit5		Ability and achievements	
		6週	Unit6		Advice / Plans, hopes and expectations	
		7週	Unit7		Opinions / Personality	
		8週	中間試験		Basic but practical examination covering what has been taught so far.	
	4thQ	9週	Review of the test		Giving correct answers and explanations.	
		10週	Unit8		Agreeing and Disagreeing	
		11週	Unit9		Telephone / News	
		12週	Unit10		Communication Strategies	
		13週	Unit11		Appointments / Talking about your country	
		14週	Unit12		Instructions / Talking about English	
		15週	期末試験		Basic but practical examination covering what has been taught so far.	
		16週	答案返却など		Giving correct answers and explanations.	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	4	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	4	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	4	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	4	
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	4		
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	4		
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	4		
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	4		
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	4		
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	4		
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	4		

			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	4	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	4	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	4	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	4	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	4	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	4	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	4	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	4	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	4	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0